第２６号
岩江中だより
←岩江中学校ホームページＱＲコード

発行日 ： 平成３０年　９月３日
文　責 ： 三春町立岩江中学校長　角田健司
電　話 ： ０２４７－６２－８２９０
ＦＡＸ ： ０２４７－６２－８３８０
Email ： iwae-j@fcs.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに、たくましく』～「共に」語り合い、分かち合い、響き合い、成長する学校～

平成30年４月に三年生で実施した全国学力学習状況調査の結果が公表されました。本校の状況としては次のとおりです。

１　数値結果より

○国語　知識・活用ともに全国平均を大きく上回る。
　　知識は、すべての領域で全国平均を大きく上回る。
　　活用は、「書くこと」「伝統的な言語文化」が課題である。
○数学　知識は全国平均をやや下回る。特に「関数」「資料の活用」が課題である。
　　活用は全国平均をやや上回る。その中でも「数と式」が課題である。
○理科　知識・活用ともにすべての領域で全国平均を大きく上回る。
○全教科において、無回答率が全国と比べて低い→最後まで諦めない態度が育っている。

２　生徒質問紙より

（全国と比べて弱い部分）

○自分によいところがある。　○毎日同じ時間に起きている（寝ている）。
○家で、自分で計画を立てて勉強している。○家で学校の宿題（予習･復習）をしている。
○家庭での学習時間（全国平均と比べて学習時間が少ない）。　○新聞を読んでいる。
○課題の解決にむけて自分で考え自ら取り組んでいる。
○自分の考えを発表する機会で、自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表できる。
○生徒間の話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができている。

（全国と比べて強い部分）

○将来の夢や目標を持っている。　○授業や課外活動で地域の人と関わる機会が多い。
○家族と学校のことについてよく話す。　○地域のボランティア活動に参加した経験がある。
○地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり遊んだりすることがある。

３　本校としての分析

①活用力は付いてきている。
・今後も、授業の中で、学んで得た知識・技能を活用する場面を意図的・計画的に取り入れていく。
②本校では、「家庭・地域・教職員・生徒」それぞれに強みの部分があるので、その強みを生かした効果的な教育活動を展開していく。
③社会に出ても自立していく力となる「自己有用感」「自己効力感（自尊感情）」（「自分は周りの人のためになっている」「自分ならできる」「自分にはこれがある」）の育成が必要。
・活躍の場の確保と成功体験の蓄積
・「私にはこれがある（自尊感情の育成）」につながる「行動の記録」の効果的な活用
④家庭学習習慣の定着が今後も重要な課題である。
・家庭学習の手引きの活用を徹底する必要がある。
・各教科における計画的な宿題の出し方、確認等について再確認する。
⑤情報を整理し、相手に伝わるように説明する力に課題がある。
・授業等における発表や情報発信の場を確保し、場に慣れさせる。(日常的に経験させる)
・ペア学習、グループ学習など話し合う活動を取り入れ、各教科における言語活動の充実に努める。
⑥限られた時間で、考えをまとめる力、書く力に課題がある。
・タイムプレッシャーを取り入れた授業
・視写活動により集中力と速く正確に書き写す訓練
・考えをまとめる場と時間の確保（授業における生徒主体のまとめ）

すべての教科で全国平均を上回っており、学力面での力が付いてきているのが分かります。これに満足せず、進路に向けて更に力を付けてほしいと思います。我々教員も結果から見えてきた本校の課題・分析を基に指導の改善を図れるよう共通理解の場を先日もったところです。今後の指導に生かしたいと思います。